

地震や突然の停電などの際には、ワークステーションのハードディスクが故障したり、ファイルが破損したりする場合があります。

万一の場合に備え、設定等のバックアップを行ない、バックアップファイルを CD-R/DVD-R 等の外部メディアへ保存することをお奨めします。

また、計画停電等で、停電する事が事前に分かっている場合は、ソフトを通常の手段でシャットダウンした後、ワークステーションやプリンターの電源も落として頂きますよう、お願い致します。

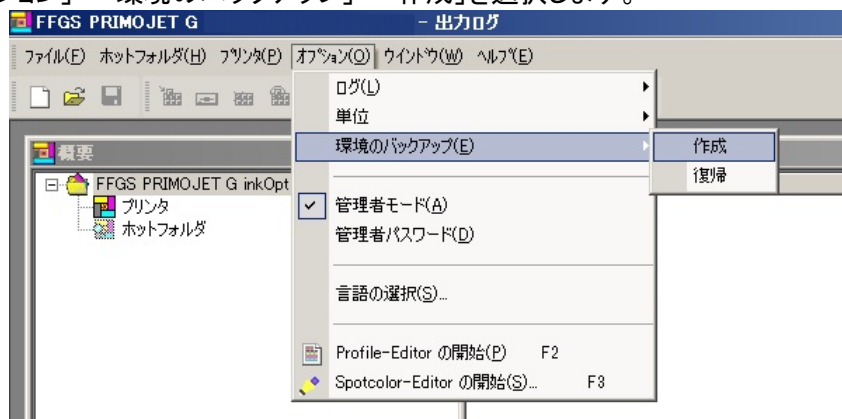
### 『環境のバックアップ』の作成・復元方法

PRIMOJET SOFT-G / SOFT-XG は、『環境のバックアップ』という機能を使用して、ソフトに関するほぼ全ての設定を保存することが可能です。作成した『環境のバックアップ』を復元すると、ソフトの設定や各種 DB、プロファイルの実データを (OS 上のフォルダ階層を含めて) 復元する事が可能な為、万一のトラブルの際のダウンタイムを軽減できます。『環境のバックアップ』の作成方法は、ソフトのバージョンによって異なります。

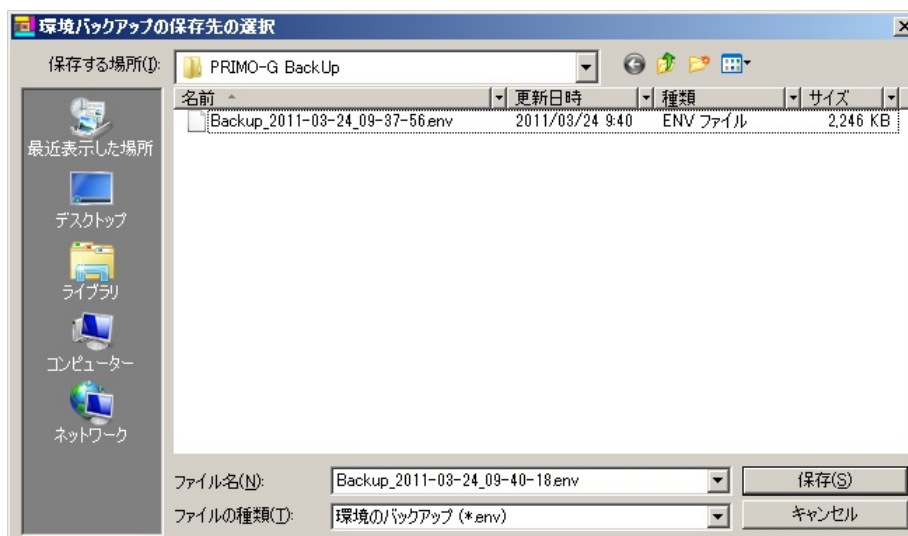
#### V4.5 の場合

##### 1) 環境のバックアップの「作成」

メニューバーの「オプション」⇒「環境のバックアップ」⇒「作成」を選択します。

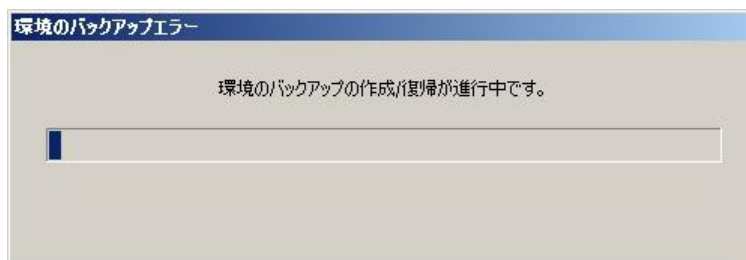


「環境バックアップの保存先の選択」画面で、サブドライブ内の「PRIMO-G Back up」フォルダを選択し、「保存」をクリックします。(フォルダが存在しない場合は、任意の場所に作成することも可能です。)



「環境のバックアップエラー」※誤表記です。機能には問題ありません。画面で、進捗状況の確認が出来ます。(環境によっては長時間かかる場合があります。)

※エラー表記が出て、バックアップが作成できない場合は、エラー表記に沿って、バックアップが作成できない原因を解消してください。



作成が完了すると『環境のバックアップの作成が終了しました』と表示されます。「閉じる」をクリックします。



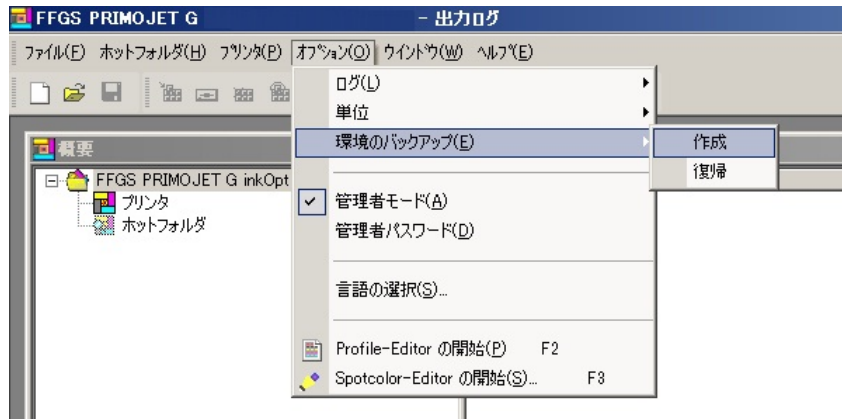
環境バックアップファイルが作成されます。

注 1) 各種設定に使用しているフルガモットファイル(csc)・キャリブレーションファイル(mx3)・プロファイル(mx4/mx5)は『環境のバックアップ』で保存されますが、設定に使用していないファイル(ノーマルガモットファイルやプリンタ設定・ホットフォルダ設定に紐付けされていないファイル)は環境のバックアップに含まれません。必要な場合はファイル自体を、個別にバックアップを取ってください。

注 2) お客様のシステムの環境によっては、うまく『環境のバックアップ』が作成できない場合があります。その場合は、お問い合わせください。

## 2)環境のバックアップの「復帰」

メニューバーの「オプション」⇒「環境のバックアップ」⇒「復帰」を選択します。



『この動作は ColorProof の設定に影響を与えます。本当に実行しますか?』という注意書きが出ます。「はい」をクリックして次に進みます。



復元させたいバックアップファイルを選択し「開く」をクリックします。

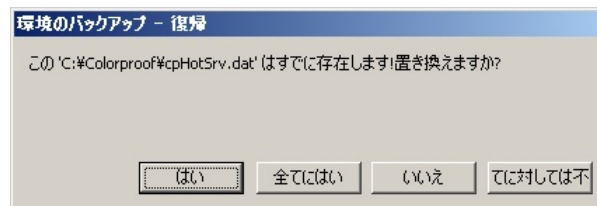
『全てのプログラムを閉じてください。そしてバックアップファイルを復帰させるために再度起動してください。』という注意書きが出ます。「OK」をクリックします。



メニューバーの「ファイル」⇒「終了」を選択します。(もしくはソフト右上の「×」ボタンをクリックします。)ソフトを再起動します。

「環境のバックアップ - 復帰」画面が表示されます。

『この 'C:\%ColorProof%\xxx' はすでに存在します! 置き換えますか?』という注意書きが出ます。「全てにはい」をクリックします。



復元が完了すると『環境は完全に復帰しました!』と表示されます。

復元処理は、終わるまで時間がかかることがあります。処理が終わる前に画面を操作すると、バックアップが復元できなかったり、ソフトがクラッシュする原因になりますのでご注意ください。

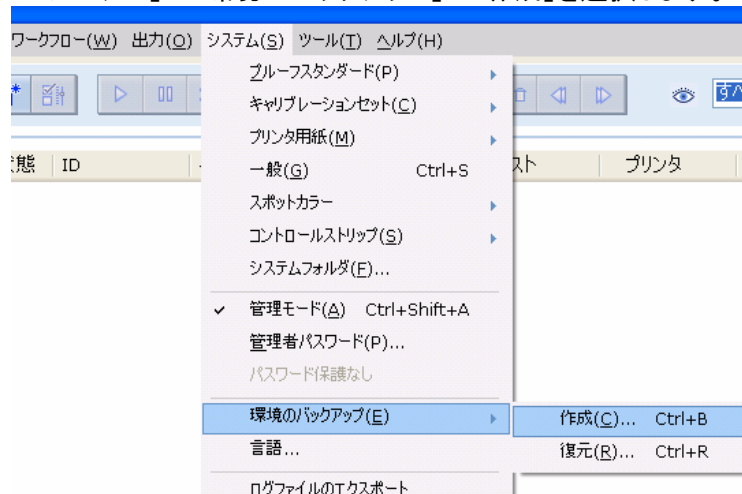


「閉じる」をクリックすると、ソフトが再起動します。

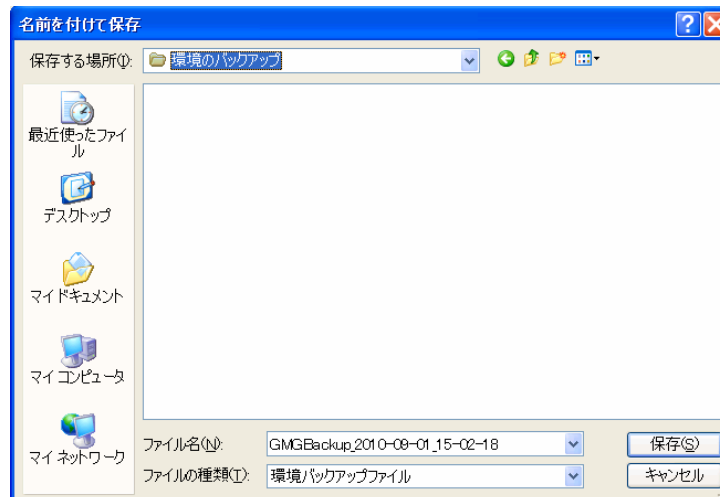
## V5.0 / 5.1 の場合

### 1) 環境のバックアップの「作成」

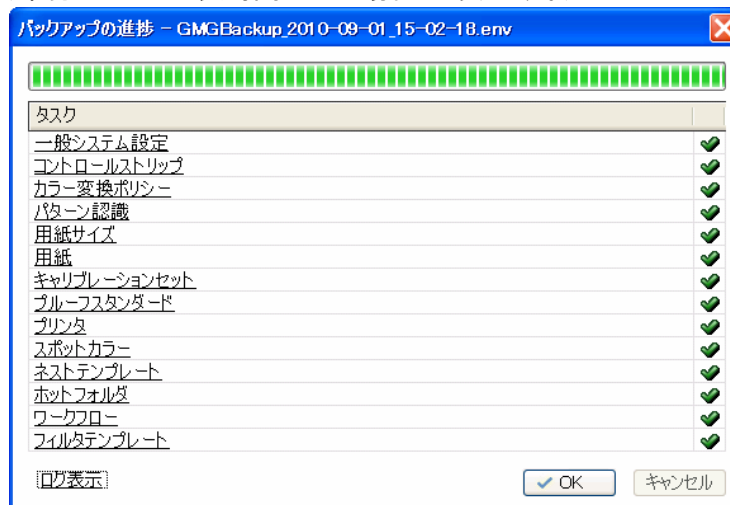
メニューバーの「システム」⇒「環境のバックアップ」⇒「作成」を選択します。



サブドライブ内¥PRIMO-G(XG)V5.1\_tools¥G(XG)Back up¥環境のバックアップを選択し、「保存」をクリックします。(フォルダが存在しない場合は、任意の場所に作成することも可能です。)



「バックアップの進捗」画面で、全ての項目に緑色のチェック(Success)が入っている事を確認し、「OK」をクリックします。(環境によっては長時間かかる場合があります。)



※赤いアラート表記が出て、バックアップが作成できない場合は、エラー表記に沿って、バックアップが作成できない原因を解消してください。

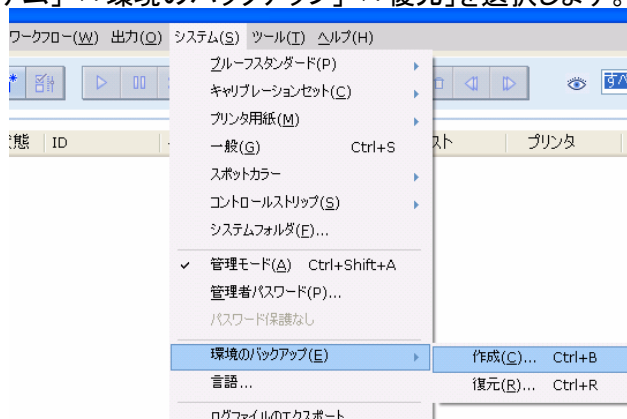
環境バックアップファイルが作成されます。

注 1) 各種設定に使用しているガモットファイル(csc)・キャリブレーションファイル(mxc/mx3)・プロファイル(mx4/mx5)は『環境のバックアップ』で保存されますが、設定に使用していないファイル(データベースに紐付けされていないファイル)は環境のバックアップに含まれません。必要な場合はファイル自体を、個別にバックアップを取ってください。

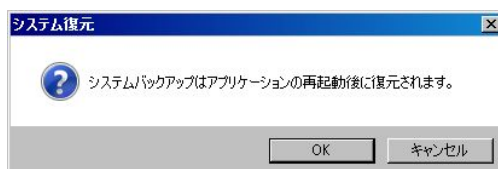
注 2) お客様のシステムの環境によっては、うまく『環境のバックアップ』が作成できない場合があります。その場合は、お問い合わせください。

## 2) 環境のバックアップの「復元」

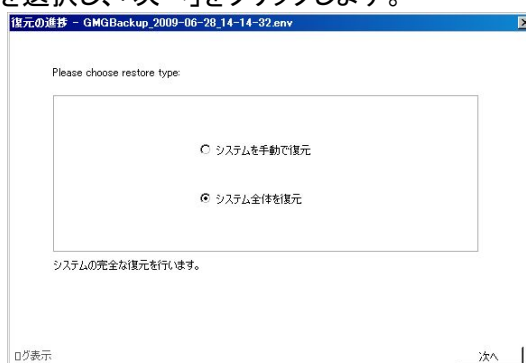
メニューバーの「システム」⇒「環境のバックアップ」⇒「復元」を選択します。



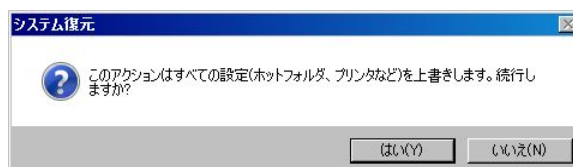
復元させたいバックアップファイルを選択し「開く」をクリックします。  
『システムバックアップはアプリケーションの再起動後に復元されます。』という注意書きが出ます。「OK」をクリックして次に進みます。



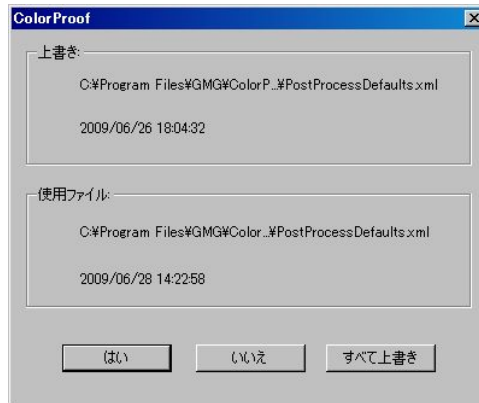
「復元の進捗」画面が表示されます。  
「○システム全体を復元」を選択し、「次へ」をクリックします。



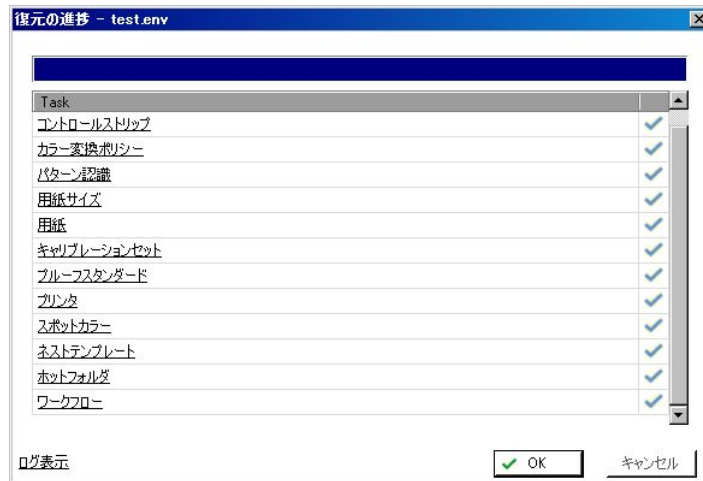
『このアクションはすべての設定を上書きします。続行しますか?』という注意書きが出ます。  
「はい」をクリックして次に進みます。



「ColorProof」画面が表れ、上書きを行なうか尋ねてきます。「すべて上書き」をクリックします。



復元処理が行なわれます。処理が終わるまで時間がかかることがあります。  
**青いバーが一番右まで達したら「OK」をクリックしてください。**処理が終わる前に画面を操作すると、バックアップが復元できなかつたり、ソフトがクラッシュする原因になりますのでご注意ください。



ソフトを再起動します。(ソフトのバージョンによっては自動で再起動されます。)立ち上がるまで時間がかかる場合があります。

## IP アドレスのバックアップ

IP アドレスのバックアップをスクリーンショット等にとっておくと、万一のトラブルの際のダウンタイムを軽減できます。

※Windows XP の例

